

図書館とともだち

図書館とともだち・鎌倉

おしらせ No. 207

2021・5・26

白露^つや角^{もつ}に目を持かたつぶり

—服部嵐雪—

今年も

鎌倉市の図書館を会場として、
ファンタスティック☆ライブラリーが
開催されました。

コロナ禍の下、展示会中心となりましたが
楽しい企画が盛り沢山でした。

今月の会報では、TOTOMO の参加報告を
特集してお届けします！

○ CONTENTS ○	PAGE
☆ ファンタスティック☆ライブラリーに参加して	・・・1
☆ おはなしひこうせん展示〈絵本で旅をしませんか〉	・・・2
☆ 「間島弟彦・間島愛子夫妻と鎌倉」—パネル展示より	・・・3
☆ ファンタスティック☆ライブラリー109 を終えて	・・・4
中央図書館 山本里佳	
☆ 旧図書館に関する「市長への手紙」に丁寧な回答をい ただきました	・・・5
☆ 職員パワー全開だった鎌倉市図書館協議会 傍聴報告	・・・6
☆ 続・会員の「最近読んだ本」紹介 他	・・・7
☆ 司書の新規採用を求める署名活動を開始します	・・・8
☆ 映画と本と図書館と/銀幕情報	・・・9
☆ 西鎌みんなの家見学会報告	・・・10
☆ 寄贈本ご紹介/協働事業推進部会報告	・・・11
ボランティア連絡協議会役員会報告/活動日誌	
☆ 事務局から	・・・12

ファンタスティック☆ライブラリーに参加して

＝ファンタスティック☆ライブラリーが無事閉幕しました。＝



今年度(令和2年度)のファンタスティック☆ライブラリーは1月28日(木)～3月7日(日)に行われました。展示中心の開催形式でしたが、動画 YouTube や Twitter の配信も行われました。さらに5館全館を巡回して展示したことにより多くの方に図書館祭であるファンタスティック☆ライブラリーを感じていただけたのではないかと思います。各図書館では展示内容についての関連本や配布資料を置くこともできました。また図書館のホームページで参加団体の展示も見ることができ、図書館まで足を運べない方々にも触れていただけたと思います。

COVID-19 に対応するため、実行委員会では毎回、各団体と図書館とでお互いに意見を出し合い、今回の形にたどり着きました。このような社会情勢ではありますが、図書館を身近に感じて、新たな魅力を発見してほしいと思いながら準備を進め、開催に至りました。

皆さまのご参加のおかげで今年度のファンタスティック☆ライブラリーが無事開催されましたことにお礼を申し上げます。

TOTOMO からは2企画で参加しました。「おはなしひこうせん」と「間島弟彦・間島愛子夫妻旌徳の会」の特集報告をご覧ください。

(水岡やす子)

♪ おはなしひろこうせん展示 ♪
 <絵本で旅をしませんか>



玉縄図書館

私は遊牧民や旅芸人のような、生きる為の旅をテーマに選びました。
 ご紹介した作品は絵本よりも読み物が多くなってしまいましたが、本で味わう時代や距離を超えた旅は素晴らしいものでした。(黒瀬)

旅をテーマにした絵本は、思いがけずたくさんありました。外出の自粛が続いていますが、これからも絵本の旅を続けていきたいと思います。(杉崎)



玉縄図書館



中央図書館

初めての図書館HPへの掲載ということで不慣れなため失敗がありました。通常パネルの内容に対応した絵本を一緒に展示するので内容紹介文の中に著者や出版社名を入れていなくて、紹介本を読んで戴くことに繋がらなかったと反省しています。(福田)

コロナ禍でも旅をしたい！この企画でいろいろな旅ができました。妄想の旅の準備も楽しいものですね。(大山)

展示や絵本を見て、旅に出た気分になってくれたらうれしいです。次回は来場された方とおはなしできるといいな。(松本)

絵本の旅に癒されて改めて絵本に感謝。(石原)

孤独な作業。でも、絆を感じつつ。(去年より絵が、上手になった？と自画自賛) 4月3日朝9時半から、10時に地下道ギャラリーで、隅から隅までじっくりと味わいました。地下道ギャラリーでの展示も良いですね。じっくりと立ち止まる効果で何組か、見ていただきました。(星)



ファンタスティック☆ライブラリーのパネルは、鎌倉駅地下道ギャラリー・50で展示され、その模様はJ:COMでも放送されました。

「間島弟彦・間島愛子夫妻と鎌倉」一パネル展示より



間島弟彦氏
『間島弟彦集 上』より



間島愛子氏
『間島愛歌集』より
(共に白瀧幾之助画)

今年は間島弟彦氏生誕 150 年を迎えます。

鎌倉の旧図書館や国宝館の設立、関東大震災で崩壊した英勝寺山門の再建などに、弟彦氏亡き後は愛子夫人がその遺志を受け継がれ多大な寄付、寄贈をなされています。

間島夫妻の功績を多くの方々に知ってもらい、その遺志を後世に受け継ぐのは私たちの役目だと思います。

今年のファンタスティック☆ライブラリーは COVID-19 の影響のため、鎌倉の図書館 5 館の巡回展示となり、『間島弟彦・間島愛子夫妻と鎌倉』もパネル展示を行いました。図書館は同時に関連書籍を展示し、好評で多くの人が借り出されていたようです。

ファンタスティック☆ライブラリーの展示に引き続き、

○3 月 30 日～4 月 5 日 地下道ギャラリーで展示。行きかう人々が足をとめて見てくださっていました。

○5 月 10 日～5 月 17 日 鎌倉市役所ロビー展示。来所された方や市役所職員から関心のあるお声をかけいただきました。



深沢図書館展示



大船図書館展示

今後は、

○2021 年 10/9～12/5

鎌倉国宝館主催

間島弟彦生誕 150 年記念「弟彦と国宝館に関する特別展」

○2021 年 11/27 (土)

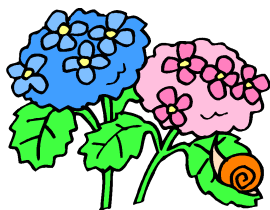
湘南邸園文化祭への参加

間島弟彦・間島愛子夫妻旌徳の会 (TOTOMO) 主催

「講演とゆかりの地を巡る見学会」

などの開催が予定されています。

思うように掘り出せないお二方の功績を、鎌倉の図書館のお力を借りながら見つけ出し、講演会の準備をしている日々です。(阿部光世)



鎌倉市市民活動センター利用登録団体の活動紹介

市役所ロビーでは、鎌倉市市民活動センター利用団体の活動を紹介するパネルが展示されました。

TOTOMO と間島夫妻との関わり、間島弟彦氏愛子氏の生涯、旧鎌倉図書館の建設、国宝館建設へ寄付、間島夫妻と関係する施設・旧跡の絵図などをまとめました。

・左パネルが「間島弟彦・間島愛子夫妻と鎌倉」



F☆L 実行委員会の仲間である、図書館の担当司書さんの感想をお届けします！

ファンタスティック☆ライブラリー109 を終えて

鎌倉市中央図書館 山本里佳

令和2年（2020年）初めより続くCOVID-19感染拡大防止の観点から、開催すら危ぶまれましたが、実行委員会も務める参加団体の「今だからこそできることを！」という熱意のもと、ファンタスティック☆ライブラリー109は令和3年（2021年）1月末より約40日間にわたり開催されました。5つの参加団体の研究成果や発表内容をまとめたポスター・資料などを市内5つの図書館を巡回するかたちで展示しましたが、展示内容が定期的に入れ替わり、一緒に紹介される図書館の関連資料も新しくなることもあって、日常的に図書館を訪れる利用者にとっても新鮮な発見をしていただけるイベントになったと感じています。

また、今回のコロナ禍では初めての試みとなるオンライン・ファンタスティック☆ライブラリーも同時開催しました。さまざまな理由で図書館に足を運べない方にも、鎌倉市図書館ホームページ上から各参加団体の展示をご覧いただき、さらに参加団体が制作した動画もアップすることで、生き活きとした臨場感あふれる展示に繋がりました。ちなみに公開期間中のイベントページへのアクセス数は、1月399件、2月349件、3～4月115件、またYouTube鎌倉市公式チャンネルで公開されている動画も再生回数が300回を超え、多くの方々に興味をもっていただけたことが実感できました。

さらにありがたいことに、令和3年（2021年）3月末から1週間、鎌倉駅の地下道ギャラリー・50にて、ファンタスティック☆ライブラリー109を再展示する機会ができました。展示の準備をしているそばから、足を止めて熱心にご覧になる通行人も見られ、鎌倉を訪れる観光客の目にも触れることで、鎌倉の新たな魅力としてみなさんにお伝えできたことでしょう。（地下道ギャラリーの様子は、J:COMでも放送されました。）

大勢の人が集まる集会形式の行事開催が難しい中、参加団体にかかわるみなさまにおいても、リアルな参加者との触れあいやダイレクトに反応を受け取る場が失われ、もどかしい1年をお過ごしのことと思います。そのような時に「できないこと」よりも、「今だからできること」にみんなで挑戦できたのは、次につながる大きな一歩になりました。

今回のファンタスティック☆ライブラリーをもって活動休止となる鎌倉視聴覚協会をはじめ、さまざまなアイディアを持って参加していただいた各団体のみなさまに心より感謝しています。

<参加各団体の展示>

- 松坡文庫研究会：「田辺松坡と松坡文庫」※
- かまくら女性史の会：「続・腰越に生きた女性たち」※
- 鎌倉視聴覚協会：「鎌倉視聴覚協会のあゆみ」（今年度でF☆Lへの参加は休止）
- TOTOMO おはなしひこうせん：「絵本で旅をしませんか」
- TOTOMO 間島弟彦・間島愛子夫妻旌徳の会：「間島弟彦・間島愛子夫妻と鎌倉」
- 鎌倉市図書館：「ファンタスティック☆ライブラリーのあゆみ」

※松坡文庫研究会とかまくら女性史の会は、〔YouTube 鎌倉市公式チャネル〕で展示内容の紹介動画配信も行いました。



旧図書館に関する「市長への手紙」に丁寧な回答をいただきました

—旧鎌倉図書館修復の設計・工事に関する質問・要望を提出—

前号の会報の記事「旧鎌倉図書館の劣化調査報告書が出されました」の末尾で触れたように、旧図書館修復のための設計・工事に関して、いくつか市に聞きたいことや要望したいことがあり、項目を整理して市に提出したいと考えていました。

当初は直接の担当部署である公的不動産活用担当に出そうとしたのですが、今の段階で答えられることは何もないという対応だったので、4月16日に「市長への手紙」というかたちで市に提出し、5月11日付で回答をいただきました（添付資料①②参照）。その概要を以下に紹介します。

まず設計についてですが、旧図書館は木造2階建ての建物に3層の書庫を組み込むというユニークな構造になっており、ほかにも特徴ある仕様が施されているので、エレベーターの設置やこどもの家として活用することで、それらがどう処理されるのか確認したいと考えました。また、いま工事現場に旧図書館に関する説明板が掲示されていますが、完成後、建物内部に寄贈者である間島夫妻を顕彰する掲示をしてほしいと要望しました。

これに対する市の回答は、エレベーターは外観を損なわないよう目立たない場所に設置する、床面の段差処理については3層構造を残す、内部の仕様は子供の家としての利便性を優先して設計している、顕彰板については一般の人が見えるように通りに面したところに掲示したいということでした。さらに、歴史的建造物の修復ということから設計段階でも専門家のチェックを受けるよう要望しましたが、これについては専門家のアドバイスを得ながら設計したという回答でした。

次に、工事に関することでは、劣化調査で指摘された「谷屋根末端部の流下水への対策」について聞いたところ、工事が開始されるまでは担当職員が定期的に点検を行っているので、工事に影響が出ると判断したときには何らかの対策を検討するということでした。

工事業者の選定基準についても聞いたのですが、前回と同様、入札条件に木造建築物の建築経験があることを付け加えて実施するという回答でした。しかしながら前回の業者は歴史的建造物ならよくあるはずの「予想以上の腐朽」に対処できず撤退してしまったことを考えると、不安が残ります。難しい課題だとは理解できますが、慎重かつ賢明なる対処をお願いしたいと思います。



2代目の図書館として親しまれた頃の旧鎌倉図書館
(写真提供：鎌倉市中央図書館)

最後に、解体された建物の部材や建具の保管状況が気になるので見学させてもらえないかと訊ねたところ、希望があればご相談くださいという前向きな回答をいただきました。近いうちに窓口担当であるこども支援課に伺って日程などを相談したいと考えています。

総じて市の回答はこちらの質問や要望にたいして、体裁を繕うことに終始するのではなく、できると考えたことを率直に伝えようとしたものであると感じられ、その努力と姿勢には感謝する次第です。

(和田安弘)

.....

職員パワー全開だった＜2020 年度第 2 回鎌倉市図書館協議会＞ 傍聴報告

3 月 19 日 10 時～12 時 於：鎌倉市中央図書館

2020 年度最後となる図書館協議会を傍聴しました。例年 3～4 回開催されている図書館協議会ですが、昨年度は 2 回のみ。COVID-19 の影響とはいえ条例で定められた重要な諮問機関だけに、回数の削減は残念でした。しかし、今回はそんな気持ちが吹き飛ばされるような見事な内容でした。

冒頭、廣田委員長（鎌倉女子大）はじめ 5 名の委員と朴澤館長はじめ職員 8 名全員の自己紹介が行われました。傍聴者は 3 名（内 2 名 TOTOMO 会員）です。

その後、館長より市議会における図書館関連質問について報告がありました。詳細は市議会中継録画や議事録を参照して頂くとして、高橋、保坂、高野、納所、栗原、池田各議員より様々な観点からの質問があったことを大変心強く思います。貴重資料のデジタルアーカイブ化や近代史資料室の整備、図書館職員の技術伝承や障がい者サービス拡充の必要性等、かねてより当会が繰り返し提言している内容と重なります。行政側の迅速な取組みが求められます。

次に、コロナ下の図書館状況について、詳細な時系列資料「コロナ禍の鎌倉市図書館の記録」をもとにした報告がありました。この記録は、感染が広がった昨年 1 月より現在まで、随時図書館 HP にアップロードされているものです。一覧すれば、緊急事態の中でも、職員が市民サービスの継続を懸命に模索し、その結果最大限の成果をあげていることが読み取れます。

続いて「第 3 次子ども読書推進計画」の一環として、SDGs をテーマにした教員研修や障がい児へのサービス拡充を、関連各課と共に実施した旨の報告がありました。教育委員会内だけでなく行政部局とも連携を深め、非常時にあっても臨機応変に即応できる直営体制の利点が如実です。

職員研修に関する報告もありました。対面での実施が困難なため書面や配信などの手法を駆使し、例年よりも大幅に実施回数を増やして、「めざす職員像」の明確化が出来た由。ピンチをチャンスに変える職員パワー全開です。

さらに、例年市民協働で実施しているファンタスティック☆ライブラリー（図書館まつり）では、リアル展示に加えて「YouTube 鎌倉市公式チャンネル」を活用しての動画配信や HP 展示会など、新たなデジタル手法に果敢に取り組み、好評を得たことが報告されました。

続く「新年度の重点事業（案）」の説明では、2021 年度に予定されている ①中央図書館の耐震改修工事 ②バリアフリー法成立を受けての障がい者サービス拡充 ③国会図書館ジャパンサーチとの連携 ④開館 110 周年への取組みが明確に示され、「今年もやります！」の意気を感じました。

最も注目したのは「鎌倉市図書館における新型コロナウイルスによる休館の影響」をまとめた統計資料です。来館者数、貸出数、開館日などの項目をもとに各館別の調査を行ない、得られた数値を図表化した上で詳細に分析した結果が報告されたのです。

それによると、コロナ下、休館日が増加した影響で実数の来館者数は 6 割、貸出点数は 8 割弱に減少したが、開館日+臨時窓口一日当たりの数で比較すると来館者数は 8 割になり、月を追うごとに増えて 2 月には 9 割超になったこと。また貸出点数制限を撤廃したことで、開館日+臨時窓口一日当たりの貸出点数で比較したところ、なんと合計点数では昨年度よりも微増（！）していることなど、緊急事態にあっても、各地域の何れの図書館も近隣市民に必要とされ、さかんに活用されていることが実証されています。

また、前回の図書館協議会でその活用対象が懸案事項となっていた「**鎌倉市図書館振興基金**」ですが、今回示された新年度の購入提案事案（492,206 円）は、基金の運用基準に則った妥当なもので、問題なく了承となりました。

併せて今後の基金活用方法について 4 点の案件が協議中との説明がありましたが、その中の「**鎌倉図書館 110 周年事業として取組まれる出版事業**」に基金を充当することについてはさらなる協議が必要と思います。また、庁内出版・無料配布ではなく、外部発注・有料頒布の出版を目指すならば、採算の合う事業計画の提示も必要と考えます。

基金ができた当初、担当課長や司書とともに、市内の企業や市民団体などへご縁をたよりに御挨拶に伺い、市民協働で図書館振興基金の PR に努めた経緯があります。また、基金で購入した貴重資料のお披露目を開催するなど、寄付者への感謝を伝える取組みも行われました。しかし近年そのような動きは殆どありません。寄附の意義ある活用だけでなく、寄附への感謝を伝え、継続的な寄附を改めて依頼するなど、基金を大切に育むための誠意ある努力もして頂きたいと願います。

1998 年以来、委員として或いは傍聴者として

図書館協議会に幾度となく参加してきましたが、今回、その内容の充実度や、報告の表現力・説得力の秀逸さに驚くとともに、熱意ある専門的職員が先達によって鍛えられ自己研修を重ねてベテランの域に達した時、こんなにも満足度の高い図書館協議会が成るのだとの思いに充たされました。勿論、委員の皆さんからの的確な質問や意見があればこそ成立する協議会であることは言うまでもありません。委員選出の大切さも痛感します。

未知の非常事態を前にして、図書館の業務記録を詳細にとり始め、時をおかず HP で公表。市民へのツイッター発信を増やし、研修方法も進化。その上で図書館の存在意義をきちんと可視化してしまう力量は、鎌倉市図書館のハイレベルな司書力そのものと思います。もちろん全職員の総合力あつての実績、成果ではありますが、指導力、牽引力を備える専門的職員が一朝一夕に得られるものでないことは明らかなです。

コロナ下においても、否だからこそ、卓越した司書力を目の当たりにし、改めて、このようなスペシャリストの職員こそ市民の財産であると確信します。ベテランから中堅へ、そして新人へとつながる司書力の確かな継続が強く望まれます。

（阿曾千代子）



○前号でご紹介した、会員 S.Y さんの「最近読んだ本」後半です○

平野啓一郎著 『マチネの終わりに』

原田マハ著 『一分間だけ』

湊かなえ著 『絶唱』

辻村深月著 『東京會館と私(上・下)』

中島京子著 『長いお別れ』

浅田次郎著 『帰郷』

福沢美和著 『フロックスはわたしの目』

門井慶喜著 『銀河鉄道の父』

鏑木蓮著 『思い出探偵』『しらない町』『白砂』

『P・O・S キャメルマート京洛病院店の四季』

★紹介された本は、すべて鎌倉市図書館で借りることができます。

梅雨入り間近。雨音をBGMに、ゆっくり読書はいかがですか。

会員の池畑紀美代さんが、5月4日逝去されました。謹んでお知らせ申し上げますとともに、生前のTOTOMOへのご協力に感謝し、ご冥福をお祈りいたします。

司書の新規採用を求める署名活動を開始します

会報 199 号でもお知らせしたように、TOTOMO は 2019 年 12 月に市長、教育長あてに司書の新規採用を求める要望書を提出しました。鎌倉市が 30 年近くも司書有資格正職員の新規採用をしてこなかったことに危機感を覚えたからです。市からの回答は翌年 2 月にいただきましたが、残念ながら内容は極めて不満足なものでした。

しかし、この状態を放置するならば、年月をかけて築いてきた専門職体制は崩壊し、他都市と比べても高い水準を維持してきたサービス実績の低下は免れないと考え、市民の力でこの状況を打開すべく、署名活動を開始することにしました。

市は司書の新規採用を停止しただけでなく、同時に正職員の定数を減らし続け、最大で 31 名（うち司書 27 名）いた正職員は現在 23 名（司書 18 名）となり、それに反比例して非正規雇用者の割合を増加させています。市は要望書への回答として「図書館の効率的運営のため」ということを強調していますが、ここでいう「効率的」とは「コスト削減」と同義であり、コスト削減の主な対象は「人」であることから「効率的運営」の実体は人件費の削減に他なりません。このまま職員の非正規化を推し進めると正職員に過度な負担がかかり、本来の意味での「効率性」は失われ、非正規化の極である全面委託や指定管理者制度を導入するならばサービス低下を招くだけでなく、コスト削減の効果さえなくなることは他自治体の事例で明らかになっています。

いまコロナ禍で医療がひっ迫している自治体では感染した人が入院して治療を受けることができずに自宅で亡くなるという悲惨なことが起きています。行政改革の名のもとに、病床数や医療スタッフを削減したことがその背景にあると思われます。病床数を増やしても医療スタッフにはすでに過度な負担がかかっており、新たな補充も難しいことから医療崩壊からの脱却は容易ではありません。コスト削減の標的となる「人」、とりわけ専門的な技術を持った「人」の重要性が逆にクローズアップされていると感じます。

図書館の場合も「人」の存在はサービスの質を左右する決定的な要因です。とりわけ鎌倉市の図書館は「人」でもっていると言っても過言ではありません。同規模自治体の図書館のなかで比較すると、資料購入予算は下位にあるのに資料の貸出数や有資格職員数の比率、コピー件数（これはレファレンス件数に比例していると考えられます）などは上位にあるのです。これは司書採用され経験を積み重ねることで力量を高めた司書の努力で予算の少なさを乗り越え、サービス向上を実現してきたということではないでしょうか。

しかしながら、1993 年を最後に司書有資格正職員の新規採用が途絶え、次世代職員の継続的育成はなされず、正職員の削減、資料費を含む図書館予算の低減傾向が続くという状況にあっては司書の努力だけに依存するのも限界にきています。

2019 年以前にも、2006 年、2008 年、2009 年の 3 回にわたって同趣旨の要望書を出し、2018 年には図書館の近代史資料室への専任の正職員の配置とそれに伴う司書の新規採用を求めましたが、やはり内容ある回答はいただけていません。人事に関することだけに厳しい課題ではありますが、TOTOMO にとっては積年の課題でもあるので、ここで簡単にあきらめるわけにはいきません。図書館を少しでも良くするという責任は市民にもあり、その責任を果たす力も市民にはあると考えますので、会員をはじめ多くの市民の方々に署名活動へのご協力をお願いする次第です。（和田安弘）





第36回

映画と本と図書館と

『シン・エヴァンゲリオン劇場版:||』

(2021年・日本/監督:庵野秀明(総監督)・鶴巻和哉・中山勝一・前田真宏)

東宝/東映 配給 (日本公開 2021年)

あらゆる業界同様、映画界もこのコロナ禍でかつて無い時代に。公開予定だった多くの話題作がいつまでも見られないまま期待だけが募っている中、今年の3月8日公開した、最後の、『エヴァンゲリオン』。実は監督夫妻が鎌倉に引っ越して来てから、この映画シリーズは生み出されました。

この欄を毎回読む方は恐らく、映画好きな方が多いと推察します。ところで『映画好き』って、不思議です。ノンジャンル映画好き、って結構幸せかもしれません。どんな話でも映画になると「見てやろう」って思えるので、思いもかけぬ経験が出来ます。ロードショー普通席なら2千円以内、所用時間は2時間前後。小泉純一郎元総理は、どんなに分厚い小説でも3時間くらいでわかるとは映画って何て有難いんだ、なんて仰ってました。

心配ご無用。『エヴァンゲリオン』前作の映画を見ていなくとも、テレビアニメを見ていなくとも、いきなり見ても見られるから大ヒットするんです。とりあえず前夜はよく寝て、軽いご飯はちゃんと食べて。長編だけど intermission は無いので直前のお茶コーヒーは適量に。

全てを理解しなくとも構わない。観る人がそれぞれの人生や哲学を反映させて味わう映画、だと思えます。

そして、出てくるんですよ。図書館。移動図書館です。出てくる本は、ハイ、お楽しみに！

かまくら銀幕上映会のお知らせ(主催:ドリーム・アーツ(03-5969-8081) 於:鎌倉芸術館小ホール)

5/27(木)『エジソンス・ゲーム』

6/9(水)『スパイの妻』

6/24(木)『ノッティングヒルの洋菓子店』

7/12(月)『甦る三大テノール 永遠の歌声』

8/16(月)『ホワイット・クロウ 伝説のダンサー』

9/9(木)『ニューヨーク 親切的なロシア料理店』

◎前売り券:1000円(当日券:1300円) ◎上映時間①11:00~ ②14:00~

☆上映スケジュールの確認は、鎌倉芸術館(0467-48-5500)へお問い合わせください。

☆受付で「田邊さんから聞いた」とおっしゃっていただければ、前売り料金でご覧いただけます



西鎌みんなの家見学会報告

4月15日（木）11時～13時



西鎌みんなの家の外観

2017年に協働事業で一緒した鎌倉広町の森市民の会の西田さんから、昨年6月に発足したコミュニティー施設「西鎌みんなの家」の見学のお誘いを受け、おはなしひろくせんメンバーと世話人、合わせて10名でお邪魔しました。湘南モノレール西鎌倉駅から徒歩で5分余り、閑静な住宅街にある白い2階建てのすてきな建物です。

「西鎌みんなの家」は、昨年3月末で閉館となった旧「西鎌倉こども会館」を再活用して地域住民のボランティアで運営されている誰でも利用できるコミュニティースペースです。西田さんをはじめ、運営ボランティアの皆さまから、みんなの家についてお話を伺った後、館内を案内していただきました。1階に広々としたプレイルームと現在準備中のカフェ、2階には図書室と10畳の和室があり、どのスペースも「自由利用」と「貸切利用（予約必要）」で利用できます。「貸切利用」では、体操やそろばん、バレエなどの教室や子育てサロンで利用されています。また、運営ボランティア主催のイベントも折々に行われています。

図書室には、主にこども向けの本があり、貸出は行っていないがみんなの家を利用する人は誰でも自由に読むことができます。TOTOMOには、この図書室での読み聞かせなどで協力をいただけないかというご依頼でした。ひろくせんメンバーに声掛けしたところ、皆さん関心を持ってくれ、今回の見学会となりました。今後のひろくせん勉強会で、どのように協力できるか話し合い、運営ボランティアの方々と連絡をとりながら、良い関係が築いていけるといいと思います。

見学会の後は、和室をお借りしてお弁当タイムと勉強会を行い、午後は広町の森を散策、充実した一日になりました。（杉崎敦子）



2階 図書室



1階 プレイルーム

西鎌みんなの家
〒248-0034 鎌倉市津西1丁目16-36
☎0467-32-8637
開館日 月～金 10時～17時



《寄贈本ご紹介》



『相模女子大学司書・司書教諭課程 60 周年記念誌』を、同大学より TOTOMO へご寄贈いただきました。先生、卒業生、実習受入図書館など様々な立場の方々から寄せられた文章のほか、60 年の歩みが綴られています。図書館学を学ぶことの意義や図書館人を育てる為に尽力されていらっしゃる事が感じられる冊子です。鎌倉市中央図書館司書の浅見館長補佐も先生のお一人として文章を寄せられています。ご覧になりたい方は事務局までお問合せください。

協働事業推進部会報告 ー令和3年度 第1回協働事業推進部会議事録よりー

日時：4 月 16 日（金）15：00～16：30 NPOセンター鎌倉 2 階

出席者：4 名（欠席 3 名）、オブザーバー 2 名、地域のつながり課 0 名（計 6 名）

議題 1. 新型コロナウイルスの影響下の活動支援について

・近年、市民活動団体提案事業の採択が少ない。第 4 期基本計画に記載されている事業を参考にして活動団体に提案を促してはどうか。

・市が新たに設置した市民活動推進基金はこれからの協働事業予算の中核となるものとしてとらえることができる。

議題 2. 今年度より、地域のつながり課が市民防災部の所属となったことについて

・今回の編成替えにより同課の活動方針がどのようなになっているかをお聞きする予定だったが、担当課の出席がなかった。出来れば原田委員長にご出席いただき中間支援組織である当協働事業推進部会にお話を伺える機会を設けてほしい。

※今回は出席できなかった為、議事録を元に報告しました。

ボランティア連絡協議会役員会報告

（4 月 15 日（木）福祉センター）

4 月 1 日（木）に会計監査を行いました。同日 2020 年度総会資料をボラ協登録の 64 グループに送付したところ 15 日の役員会までに 53 グループから議決書の返送があり、無事書面総会は成立しました。

各グループには葉書にて総会報告を行いました。

（黒瀬聖子）

TOTOMO活動日誌（4/1～5/26）

3/30～4/5	F☆L地下道ギャラリー展	4/28	間島愛子氏寄贈資料見学会
4/7	鎌倉・文化の森の瀧下氏と懇談	5/10～17	市役所パネル展参加（間島の会パネル）
4/7	間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会	5/11	旧図書館に関する市長からの回答
4/8	野村総研跡地を考える市民の会参加	5/16～6/20	図書館友の会全国連絡会通信総会
4/15	おはなしひこうせん 西鎌みんなの家見学/勉強会	5/20	おはしひこうせん勉強会
4/15	ボランティア連絡協議会役員会出席		
4/16	旧図書館に関する市長への手紙提出	定例会 7 回	（4/7, 14, 21, 28, 5/12, 19, 26）

TOTOMO

COMING NEXT! 事務局からのお知らせ



相変わらずの自粛の日々ですが、お変わりありませんか？

TOTOMOは、感染に気を付けながら日々活動が続けています。

鎌倉市に司書資格をもつ正規職員の新規採用を求める署名活動を始めます

鎌倉市では、1993年の2名の司書採用を最後に新規採用はなくなり、専門的な技術と豊かな経験を持つ職員は数年のうちに、ほとんどいなくなってしまうという事態を迎えています。

TOTOMOでは、この事態に新規採用を求める署名活動をすることにしました。ひとりでも多くの署名が集まりますよう皆さまのご協力をお願いいたします。(詳細は8頁をご覧ください)

お問い合わせは、和田 (TEL/FAX 0467-31-5678) まで。

おはなしひこうせん勉強会

日 時: 6月17日(木) 10時~12時 場 所: 福祉センターにて

テーマ: 関西地方(大阪・京都・滋賀・奈良・兵庫・和歌山)

おすすめの絵本や紙芝居などをご紹介します。

お問い合わせは、黒瀬 (TEL/FAX 0467-22-8545) まで。

読 書 会

日 時: 5月28日(金) 11時~12時半 場 所: NPOセンター鎌倉にて

テーマ本: 石井桃子著『ノンちゃん雲に乗る』(福音館書店)

多和田葉子著『言葉と歩く日記』(岩波新書)です。

お問い合わせは、杉崎 (TEL/FAX 0467-41-4956) まで。

間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会

日 時: 6月2日(水) 13時半~16時半 場 所: NPOセンター鎌倉にて

お問い合わせは、鈴木 (TEL 090-4728-5242) まで。

※上記の各会については、COVID-19感染の状況により、変更になる可能性があります。
参加される方はTOTOMOのHPやFBでご確認いただくか、お問い合わせください。

☆図書館友の会全国連絡会

COVID-19の対応のため、昨年度に引き続き、今年の総会(5月16日(日)~6月20日(日))も通信総会で実施中です。お問い合わせは、阿曾 (TEL/FAX: 0467-45-5731) まで。



編集後記 * * * * *

☆ファンタスティック☆ライブラリーの特集記事はいかがでしたか。おはなしひこうせんでは、次の企画について考え始めています。(A.S)

☆TOTOMOは、鎌倉市図書館に司書資格をもつ正規職員の新規採用を求める署名活動を始めます。
ぜひ今号のご案内をご覧の上、ご協力をお願いいたします。(M.S)

題字・巻末カット: 小島寅雄

2021年5月26日発行

図書館とともだち・鎌倉(代表: 和田安弘) 編集: 阿曾・黒瀬・目黒・杉崎・斉木

事務局: 〒248-0005 鎌倉市雪ノ下1-14-34(黒瀬) TEL/FAX 0467-22-8545

HP: <http://totomo.sakura.ne.jp> E-mail: toshokantomodachi@gmail.com

